

安曇野市の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

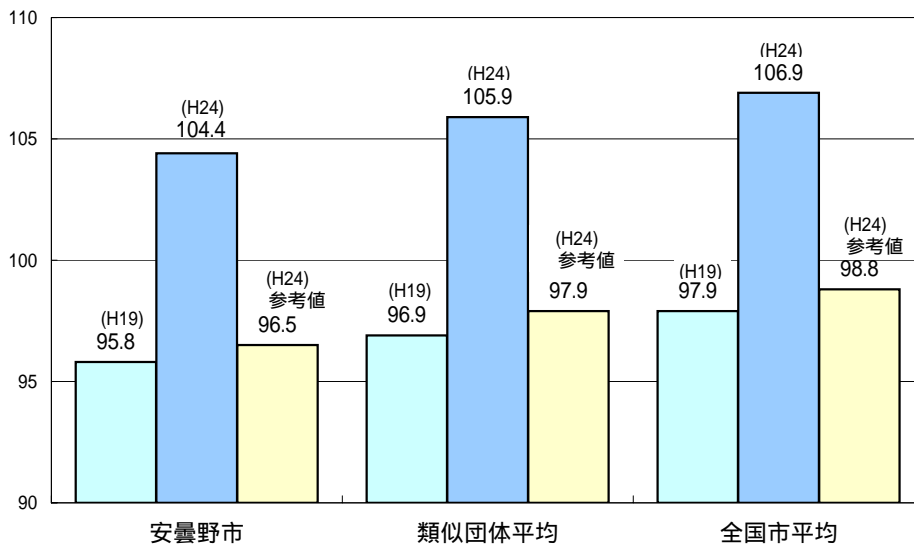
区分	住民基本台帳人口 (23年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 22年度の人件費率
23年度	人 97,795	千円 37,917,559	千円 178,711	千円 5,843,484	% 15.4	% 15.3

(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

区分	職員数 A	給与費				一人当たり 給与費 B/A	(参考)類似団体平均 一人当たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
23年度	人 678	千円 2,664,574	千円 279,816	千円 956,548	千円 3,900,938	千円 5,754	千円 6,045

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。
2 職員数は、23年4月1日現在の人数である。

(3) ラスパイレス指数の状況（24年4月1日現在）



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数である。
2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。
3 「参考値」は、国家公務員の時限的な（2年間）給与改定特例法による措置が無いとした場合の値である。

2 一般行政職給料表の状況

(単位：円)

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級
1号級の給料月額	135,600	185,800	222,900	261,900	289,200	320,600	366,200	413,000
最高号級の給料月額	243,700	307,800	354,700	388,300	400,600	422,600	456,200	478,200

(注) 給料月額は、給与抑制措置を行う前のものである。

3 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（24年4月1日現在）

一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額 (手当等を含む額)	平均給与月額 (国ベース)
安曇野市	43.8 歳	325,669 円	356,618 円	349,555 円
長野県	45.4 歳	345,814 円	404,792 円	380,771 円
国	42.8 歳	304,944 円 (329,917) 円		372,906 円 (401,789) 円
類似団体	43.2 歳	327,748 円	391,486 円	362,999 円

技能労務職

区分	公務員					民間			参考 A / B
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額 (A)	平均給与月額 (国ベース)	対応する民間 の類似職種	平均年齢	平均給与月額 (B)	
安曇野市 (調理員)	58.9 歳	3 人	373,100 円	378,800 円	375,144 円	調理士	43.7 歳	247,400 円	1.52
長野県	55.8 歳	64 人	283,700 円	309,537 円	299,093 円	-	-	-	-
国	49.7 歳	3,479 人	270,465 円 (285,030) 円	-	307,506 円 (323,181) 円	-	-	-	-
類似団体	49.0 歳	39 人	314,792 円	350,255 円	335,630 円	-	-	-	-

区分	参考		
	年収ベース(試算値)の比較		
	公務員 (C)	民間 (D)	C / D
安曇野市 (調理員)	6,163,000 円	3,301,200 円	1.87

民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用している。(平成21～23年の3ヶ年平均)

技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではない。

年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を1.2倍したものに、公務員において前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値である。

(注) 1 「平均給料月額」とは、平成24年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、住居手当、時間外手当などの全ての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。

また、「平均給与月額(国ベース)」は、国家公務員の平均給与月額には時間外勤務手当、特殊勤務手当等の手当が含まれていないことから、比較のため、国家公務員と同じベースで再計算したものである。

3 国家公務員欄における「平均給料月額」及び「平均給与月額(国ベース)」の括弧書きは、給与改定特例法による措置がない場合の値(減額前)である。

(2) 職員の初任給の状況（24年4月1日現在）

区分		安曇野市	長野県	国
一般行政職	大学卒	172,200 円	175,600 円	163,987 円 (172,200) 円
	高校卒	140,100 円	142,300 円	133,418 円 (140,100) 円
技能労務職	高校卒	140,100 円	137,200 円	-
	中学卒	- 円	- 円	-

(注) 国家公務員欄における括弧書きは、給与改定特例法による措置がないとした場合の値(減額前)である。

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（24年4月1日現在）

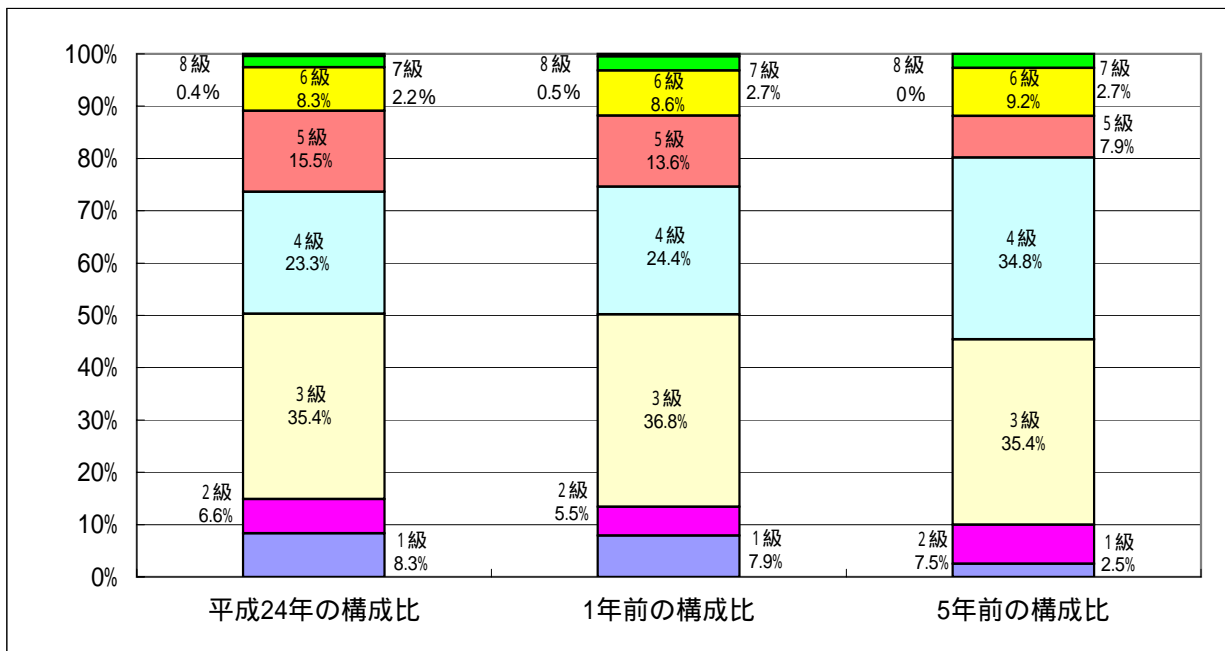
区分		経験年数7年以上10年未満	経験年数10年以上15年未満	経験年数15年以上20年未満
一般行政職	大学卒	238,396 円	272,542 円	314,912 円
	高校卒	- 円	247,675 円	289,093 円
技能労務職	高校卒	- 円	- 円	- 円
	中学卒	- 円	- 円	- 円

4 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数の状況(24年4月1日現在)

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
8級	参事監の職務	2人	0.4%
7級	部長、参事の職務	12人	2.2%
6級	課長、副参事の職務	45人	8.3%
5級	課長補佐、主任企画員、主幹の職務	84人	15.5%
4級	係長、企画員、副主幹の職務	126人	23.3%
3級	主査又はこれに相当する職務	192人	35.4%
2級	主任又はこれに相当する職務	36人	6.6%
1級	主事、技師又はこれに相当する職務	45人	8.3%

- (注) 1 安曇野市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。
 2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(2) 昇給への勤務成績の反映状況

平成24年度から、職責に応じて、段階的に勤務成績を昇給に反映させていく予定である。

5 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

安曇野市	長野県	国
1人当たり平均支給額(23年度) 1,400 千円	1人当たり平均支給額(23年度) 1,595 千円	-
(23年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.35 月分 (1.45)月分 (0.65)月分	(23年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.35 月分 (1.45)月分 (0.65)月分	(23年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.35 月分 (1.45)月分 (0.65)月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・職務加算 5 ~ 15%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5 ~ 20% ・管理職加算 15 ~ 25%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5 ~ 20% ・管理職加算 10 ~ 25%

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

[参考] 勤勉手当への勤務実績の反映状況(一般行政職)

平成24年度から、職責に応じて、段階的に勤務実績を勤勉手当に反映させていく予定である。

(2) 退職手当(24年4月1日現在)

安曇野市			国		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	23.5 月分	30.55 月分	勤続20年	23.5 月分	30.55 月分
勤続25年	33.5 月分	41.34 月分	勤続25年	33.5 月分	41.34 月分
勤続35年	47.5 月分	59.28 月分	勤続35年	47.5 月分	59.28 月分
最高限度額	59.28 月分	59.28 月分	最高限度額	59.28 月分	59.28 月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置 (2% ~ 20%加算)		その他の加算措置	定年前早期退職特例措置 (2% ~ 20%加算)	
1人当たり平均支給額	14,186 千円	26,490 千円			

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、23年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 地域手当

(24年4月1日現在)

安曇野市では、地域手当を支給していません。

(4) 特殊勤務手当(24年4月1日現在)

支給実績(23年度決算)	800 千円		
支給職員1人当たり平均支給年額(23年度決算)	14,545 円		
職員全体に占める手当支給職員の割合(23年度)	7.3 %		
手当の種類(手当数)	5		
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
感染症等防疫作業手当	従事した職員	防疫作業	日額 500円
行旅死病人取扱手当	従事した職員	行旅死病人の収容等	1件1,500円 ~ 2,500円
犬猫等死体処理作業手当	従事した職員	犬猫等の死体処理	1件500円
野犬等処理作業手当	従事した職員	野犬等の捕獲	1件500円
福祉業務手当	従事した職員	面接業務等	日額300円 ~ 500円

(5) 時間外勤務手当

支給実績 (2 3 年 度 決 算)	54,349	千円
職員 1 人 当 たり 平 均 支 給 年 額 (2 3 年 度 決 算)	74	千円
支給実績 (2 2 年 度 決 算)	88,672	千円
職員 1 人 当 たり 平 均 支 給 年 額 (2 2 年 度 決 算)	120	千円

(6) その他の手当 (2 4 年 4 月 1 日 現 在)

手 当 名	内容及び支給単価	国の制度 との異同	国の制度と 異なる内容	支給実績 (23年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (23年度決算)
扶養手当	扶養親族のある職員に支給 配偶者 月額13,000円 配偶者以外の扶養親族 月額6,500円 (配偶者のない場合はその内1名については月額11,000円) 満15歳に達する日後の年度初めから満22歳の年度末までの扶養親族1人につき月額5,000円加算	同		85,101 千円	235,087 円
住居手当	借家等の場合 (月額27,000円限度) ・家賃月額23,000円以下 支払家賃 - 12,000円 ・家賃月額23,000円超 (支払家賃 - 23,000円) × 1/2 + 11,000円	同		24,910 千円	273,736 円
通勤手当	交通機関利用の場合 通勤に要する運賃相当額 (月額55,000円限度) 自動車等を利用の場合 (片道2Km以上)月額2,000円 ~ (片道60Km以上)月額24,500円	同		34,153 千円	53,700 円
管理職手当	職制上の段階により支給 部長 7級 54,744円 課長 6級 38,034円 所長 5級 20,030円 等	異	国は、俸給の特別調整額として支給	39,295 千円	427,125 円
管理職特別勤務手当	管理又は監督の地位にある職員が祝日法による休日等及び年末年始の休日などに勤務をした場合に支給 部長・支所長 8,000円 課長 6,000円 等	異	区分・支給額が異なる		
寒冷地手当	11月～3月の各月に支給 扶養親族のある世帯主 月額 17,800円 扶養親族のない世帯主 月額 10,200円 その他の職員 月額 7,360円	同		45,090 千円	63,867 円
宿日直手当	宿日直1回につき 4,200円	同		9,983 千円	20,756 円
休日勤務手当	正規の勤務時間として、祝日法による休日及び年末年始の休日等に勤務した場合に支給 1時間単価 × 135/100	同			
夜間勤務手当	正規の勤務時間として、22:00～5:00の時間に勤務した場合に支給 1時間単価 × 25/100	同			

6 特別職の報酬等の状況（24年4月1日現在）

区 分		給 料		月 額		等	
給 料	市 長	742,400 円 (928,000 円)	(参考)類似団体における最高/最低額	1,000,000 円 / 447,500 円			
	副 市 長	691,200 円 (768,000 円)		816,000 円 / 497,000 円			
報 酬	議 長	459,000 円		698,000 円 / 335,000 円			
	副 議 長	383,000 円		620,000 円 / 275,000 円			
	議 員	360,000 円		560,000 円 / 255,000 円			
期 末 手 当	市 長	(23年度支給割合)		2.90		月分	
	副 市 長	(23年度支給割合)		2.90		月分	
退 職 手 当	市 長	(算定方式)	(1期の手当額)	(支給時期)			
	副 市 長	928,000 × 48月 × 0.44 768,000 × 48月 × 0.26	19,599,360 円 9,584,640 円	任期毎 任期毎			
備 考							

(注) 1 給料及び報酬の()内は、減額措置を行う前の金額である。
2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額である。

7 職員数の状況

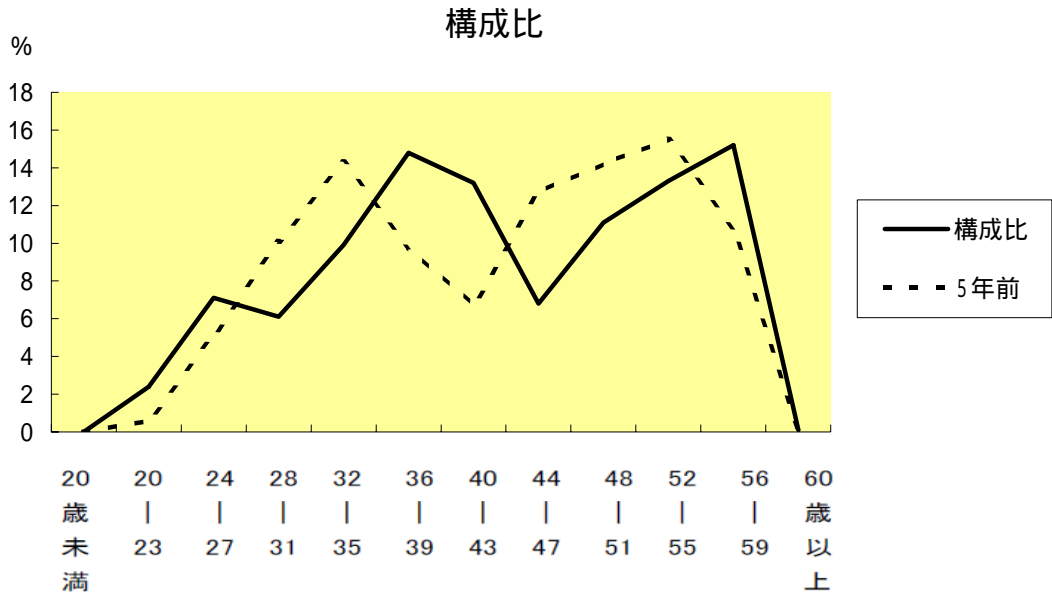
(1)部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在 単位:人)

区 分		職 員 数		対 前 年 数	主 な 増 減 理 由	
		平成23年	平成24年			
普 通 会 計 部 門	一 般 行 政 部 門	議会	7	6	-1	業務見直しによる減員
		総務	178	177	-1	業務削減等による減員
		税務	51	54	+3	業務移管による増員
		民生	173	167	-6	保育所退職欠員不補充等による減員
		衛生	63	64	+1	業務量増加による増員
		労働	1	1	0	
		農林水産	52	53	+1	業務量増加による増員
		商工	19	19	0	
		土木	55	57	+2	業務量増加による増員
	計	599	598	-1	<参考> 人口1万人当たり職員数 61.15 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 54.46 人)	
教育部門	80	78	-2	業務見直し等による減員		
小 計	679	676	-3	<参考> 人口1万人当たり職員数 69.12 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 73.53 人)		
公 営 企 業 計 等 部 門	水道	19	21	+2	業務量増加による増員	
	下水道	12	11	-1	業務見直しによる減員	
	その他	45	42	-3	業務移管による減員	
	小 計	76	74	-2		
合 計		755	750	-5	<参考> 人口1万人当たり職員数 76.69 人	
		[839]	[839]	[0]		

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。
2 []内は、条例定数の合計である。

(2)年齢別職員構成の状況(24年4月1日現在)



区分	20歳未満	20歳 23歳	24歳 27歳	28歳 31歳	32歳 35歳	36歳 39歳	40歳 43歳	44歳 47歳	48歳 51歳	52歳 55歳	56歳 59歳	60歳以上	計
職員数	0人	18人	53人	46人	74人	111人	99人	51人	83人	100人	114人	1人	750人

(3)職員数の推移

(単位: 人・%)

年度	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	過去5年間の増減数(率)
部門別							
一般行政	611	600	597	592	599	598	13 (2.1)
教育	89	80	80	81	80	78	11 (12.4)
普通会計 計	700	680	677	673	679	676	24 (3.4)
公営企業等会計 計	104	104	99	95	76	74	30 (28.8)
総合計	804	784	776	768	755	750	54 (6.7)

- (注) 1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。
 2 合併した団体については、合併前の年については合併前の旧団体の合計職員数。

8 公営企業職員の状況

(1) 水道事業 職員給与費の状況

ア 決算

区分	総費用 A	純損益又は実 質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考) 22年度の総費用に占 める職員給与費比率
23年度	千円 1,822,808	千円 112,564	千円 112,778	% 6.2	% 8.5

区分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 B/A	(参考)市町村平均 一人当たり給与費 千円
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
23年度	人 19	千円 81,670	千円 10,318	千円 29,790	千円 121,778	千円 6,409	千円 5,754

- (注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。
2 職員数は、24年3月31日現在の人数である。

職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況(24年4月1日現在)

区分	平均年齢	基本給	平均月収額
安曇野市	48.9 歳	368,465 円	534,114 円
団体平均	45.4 歳	358,043 円	528,316 円

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。

職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

水道事業				一般行政職			
1人当たり平均支給額(23年度) 1,724 千円				1人当たり平均支給額(23年度) 1,422 千円			
(23年度支給割合)				(23年度支給割合)			
期末手当		勤勉手当		期末手当		勤勉手当	
2.60	月分	1.35	月分	2.60	月分	1.35	月分
(1.45)	月分	(0.65)	月分	(1.45)	月分	(0.65)	月分
(加算措置の状況)				(加算措置の状況)			
職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・職務加算 5 ~ 15%				職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・職務加算 5 ~ 15%			

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当(24年4月1日現在)

水道事業			一般行政職		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	23.5 月分	30.55 月分	勤続20年	23.5 月分	30.55 月分
勤続25年	33.5 月分	41.34 月分	勤続25年	33.5 月分	41.34 月分
勤続35年	47.5 月分	59.28 月分	勤続35年	47.5 月分	59.28 月分
最高限度額	59.28 月分	59.28 月分	最高限度額	59.28 月分	59.28 月分
その他の加算措置			その他の加算措置		
定年前早期退職特例措置 (2% ~ 20%加算)			定年前早期退職特例措置 (2% ~ 20%加算)		
1人当たり平均支給額	千円	26,490 千円	1人当たり平均支給額	14,366 千円	26,621 千円

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、23年度に退職した職員に支給された平均額である。

ウ 地域手当

(24年4月1日現在)

安曇野市では、地域手当を支給していません。

エ 特殊勤務手当(24年4月1日現在)

支給実績(23年度決算)				0 千円
支給職員1人当たり平均支給年額(23年度決算)				- 円
職員全体に占める手当支給職員の割合(23年度)				0.0 %
手当の種類(手当数)				0
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価	
無				

オ 時間外勤務手当

支給実績(23年度決算)	4,641 千円
職員1人当たり平均支給年額(23年度決算)	232 千円
支給実績(22年度決算)	2,811 千円
職員1人当たり平均支給年額(22年度決算)	128 千円

(注) 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。

カ その他の手当(24年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績(23年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額(23年度決算)
扶養手当	扶養親族のある職員に支給 配偶者 月額13,000円 配偶者以外の扶養親族 月額6,500円 (配偶者がない場合はその内1名については月額11,000円) 満15歳に達する日後の年度初めから満22歳の年度末までの扶養親族1人につき月額5,000円加算	同		2,340 千円	234,000 円
住居手当	借家等の場合(月額27,000円限度) ・家賃月額23,000円以下 支払家賃 - 12,000円 ・家賃月額23,000円超 (支払家賃 - 23,000円) × 1/2 + 11,000円	同		324 千円	324,000 円
通勤手当	交通機関利用の場合 通勤に要する運賃相当額 (月額55,000円限度) 自動車等を利用の場合 (片道2Km以上)月額2,000円 ~ (片道60Km以上)月額24,500円	同		954 千円	53,000 円
管理職手当	職制上の段階により支給 部長 7級 54,744円 課長 6級 38,034円 等	異	国は、俸給の特別調整額として支給	916 千円	305,333 円
管理職特別勤務手当	管理又は監督の地位にある職員が祝日法による休日等及び年末年始の休日などに勤務をした場合に支給 部長・支所長 8,000円 課長 6,000円 等	異	区分・支給額が異なる	支給なし	
寒冷地手当	11月～3月の各月に支給 扶養親族のある世帯主 月額 17,800円 扶養親族のない世帯主 月額 10,200円 その他の職員 月額 7,360円	同		1,306 千円	68,737 円
休日勤務手当	正規の勤務時間として、祝日法による休日及び年末年始の休日等に勤務した場合に支給 1時間単価 × 135/100	同			
夜間勤務手当	正規の勤務時間として、22:00～5:00の時間に勤務した場合に支給 1時間単価 × 25/100	同			